

消防職員 特別教育

第16回警防活動教育を実施しました

[期間] 令和3年6月11日（金）から6月21日（月）まで
7日間（56時間）

[会場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 厳しい条件下において、警防活動を遂行し得る旺盛な士気の下に
基本的知識と技術の向上が図られ、警防隊員として適切かつ効果的な
消防活動ができる。

[教育対象] 警防、救助又は救急業務の指揮、指導的立場の者

[修了者] 27消防本部(局) 64名



第16回警防活動教育

安全管理指導／火災防御座学



安全管理実技訓練（安全マット取り扱い）



火災性状確認



ポンプ運用訓練



消防活動訓練（ホース延長）



消防活動訓練



木造火災想定訓練（排煙）



木造火災想定訓練



耐火造火災想定訓練



耐火造火災想定訓練



隊員救出・緊急脱出要領



グループミーティング



西入間広域消防組合消防本部 佐々木 幹友 消防司令補 * 第1小隊総代

修了しての感想

本教育課程では、コロナ禍の影響により宿泊ではなく通学でした。他消防本部とのコミュニケーションを取る機会が少なく残念な気持ちもありましたが、分隊毎に一致団結し充実した訓練をすることができました。

7日間の短い期間ではありましたが、安全管理や火災性状、消防ポンプについての座学をはじめ、煙で満たされた部屋の吸気排煙訓練や木造・耐火造想定訓練等、実災害・実環境をイメージした訓練を実施することができました。特に印象深かったのは、隊員救出緊急退避要領です。活動中の事故対応能力の向上を目的とした訓練で、知識の有無で生死が分れるのだと改めて認識しました。

所属に戻り、警防活動教育で経験したことを探して、地域の消防力の向上に努めます。



後輩へのメッセージ

本教育課程は現場に近い立体的な活動が多く、そのような活動では、隊全体で共通認識を持つことが必要不可欠です。火災戦術は多種多様ですが、消防に対する思いはみんな一つです。

仲間同士が助け合い励まし合い、とても有意義な内容の濃い7日間でした。失敗を恐れず全力で取り組むことで、心身共に大きく成長することができると確信しています。

越谷市消防局 山口望美 消防士長 * 第1小隊副総代

修了しての感想

第16回警防活動教育では、火災の性状、燃焼現象、屋外注水活動、屋内注水活動など火災防御について、初めに座学で学び、その後、現場に即した訓練で実践することができたため、とても勉強になりました。知識だけでなく実際に見て、体感して学ぶことができたことは、とても良い経験になりました。

また、他の所属の方と一緒に訓練し、多くの情報交換ができたことは、自分の所属とは違う方法や考え方を知るきっかけとなり、新しい発見が多くありました。そんな共に



高め合える仲間に出会えたことは、私の今後の消防人生にとても貴重な機会となりました。

後輩へのメッセージ

火災防御戦術を身につけるために、警防活動教育は、整った施設、恵まれた環境、素晴らしい教官方の下で多くのことを教わることのできる最高の環境だと思います。普段の訓練では、なかなかできない訓練を思いっきり行うことができ、実際の効果やポイント、注意点などを体感することができます。

他にも、他の所属の方と一緒に訓練を行えることも貴重な経験で、それぞれの所属の戦術や考え方など、多くの情報交換が出来ます。また、そこで出会った仲間と今後も交流を持ち続けることが出来ることも貴重な機会になると思います。

さいたま市消防局 岩元 隆暁 消防士長 *第2小隊総代

修了しての感想

第2小隊総代という立場で入校し、不安がありながらも、派遣された皆さんに支えられて、無事学生全員が怪我なく、修了できたことはとても良かったと思います。

第16回警防活動教育については通学でしたので、各学生とコミュニケーションを図るために苦労しました。私の場合、短い期間のため、すべてにおいて、多くを望まず、できる限りを全力でやろうと決めて過ごしました。結果、今後の消防人生において、有意義で大切な財産となる7日間になりました。

本教育が、実りある教育となったのは、担当講師、各教官、助教官の入念な準備、確かな技術及び知識の伝達のおかげです。感謝の気持ちを決して忘れることなく、埼玉県の消防力向上に努めて参りたいと思います。



後輩へのメッセージ

まず、コロナ禍において様々な人の協力や努力があったからこそ実現した警防活動教育です。皆さんのが派遣される時、世の中がどの様なことになっているか想像できませんが、充実した設備、充実した環境のもと、思い切った訓練をすることができます。所属ではなかなかできない訓練ができることが、本教育の醍醐味だと思います。

どうすれば早く消せるのか、どうすれば早く助けられるのか、を常日頃からイメージをして、妥協せずやりきってください。

埼玉西部消防局　波多野 篤史 消防士長

* 第2小隊副総代

修了しての感想

警防活動教育は7日間という短い期間でしたが、座学、訓練ともに内容が濃く、とても充実した時間を過ごすことができました。

訓練はどれも実災害に即した内容であり、現場活動に不可欠な知識や技術を学ぶことができました。また、様々な経験を重ねてきた学生同士が意見を出し合い、厳しい訓練を通して得られたものは、今後の糧となり支えとなるものです。

この警防活動教育で学んだ知識や経験を現場活動に活かし、市民の安全確保に繋げていきます。



後輩へのメッセージ

警防活動教育は、様々な施設を活用しての火災性状確認や吸気排煙など、普段ではなかなか体感できない訓練ばかりで、とても良い経験となります。この経験は、現場での活動や自分のスキル向上に必ず繋がります。

入校する際には、教育期間中に身に付けたい知識や技術、向上させたいことなど、具体的な目標を立て、その目標を達成できるように全力で頑張ってください。